

# 徹底した議会改革

北海道函館市から車で  
南西へ二時間ほど。千代  
の山、千代の富士の横綱  
二人を輩出した町として  
知られる福島町がある。  
人口は六千人足らず。青  
函トンネル貫通工事の抛  
点だった一九七〇年代と  
比べると平減した。

「住民との情報共有が  
必要だ。議会を変えなけ  
ればと思った」

議員歴二十八年になる  
溝部幸基議長(五)は九九

参加を進め、自治意識の  
醸成を図ること。  
地方議会は、何をやっ  
ているのか見えにくい。  
財政悪化も相まって「議  
会不要論」すらある。福  
島町も、その例外ではな  
い。

住民との情報共有策と  
撮影や録音を可能とし、  
さらには画期的なのは、  
二年前から導入した議会

年の議長就任以来、改革  
の旗振り役になってい  
ることだ。傍聴規則の改正  
で一般傍聴者による写真  
開催することを予定して  
いる。

二年前から導入した議会  
の旗振り役になってい  
ることだ。傍聴規則の改正  
で一般傍聴者による写真  
開催することを予定して  
いる。

の旗振り役になってい  
ることだ。傍聴規則の改正  
で一般傍聴者による写真  
開催することを予定して  
いる。

の旗振り役になってい  
ることだ。傍聴規則の改正  
で一般傍聴者による写真  
開催することを予定して  
いる。

の旗振り役になってい  
ることだ。傍聴規則の改正  
で一般傍聴者による写真  
開催することを予定して  
いる。



## 「明日は夕張」

福島町議の自己評価(溝部議長の場合)  
※評価期間2006年1~12月

個人の公約・目標	評価	
	取り組み	結果
「町づくり基本条例」の制定	△	▲
行政情報の公開・共有の推進	△	▲
補助金の抜本的見直しの提言	△	▲
財政健全化への取り組み	△	▲
議長交際費の削減	○	○
新しい仕事に挑戦できる支援創設	▲	▲
リサイクル事業への提言	△	△
「健康な町づくり」で医療費の節減	△	△
在宅介護支援体制の整備	△	△
社会教育施設の利用促進	△	▲
住民自治活動の推進	△	▲
インターネットでの議会公開	△	▲
出前議会の開催	△	▲
議事録公開のスピードアップ	△	△
活発な討論ができる議会実現	△	▲
視察の受け入れ	○	○

評価の分類 ○「ほぼ満足」 △「努力が必要」 ▲「さらに努力が必要」

と議員の自己評価制度。  
会議や委員会の資料を配  
布し、議員の質問は分か  
りやすい「二問一答方  
式」に。今月九日には、  
午後六時三十分から九時  
まで「夜間議会」を trials  
開催することを予定して  
いる。

さらに画期的なのは、  
二年前から導入した議会  
の旗振り役になってい  
ることだ。傍聴規則の改正  
で一般傍聴者による写真  
開催することを予定して  
いる。

自己評価では「お手盛  
り」になってしまい、あ  
だ。自ら範を示すため、福  
島町議会は今年八月の町  
議選後は定数を二減らし  
て二二とし、議員報酬も  
十五万七千円から十三万  
一千元まで下げる。同選  
挙では、投票票日を平日  
に移し、職員の出勤  
手当を節約する方向で準  
備を進めている。

こうした改革を進める  
初めて地方分権を主張で  
きる」(大杉はるか)

算規模は約三十億円。借  
金は約五十四億円。財政  
破たんした夕張市に比べ  
れば状況は悪くない。だ  
が、「借金規模は違って  
も実際の財政状況は全国  
どこでも似通っている」  
と比較して採点。議員も  
大半が参加し、行・財政  
改革や福祉といった分野  
で自己の目標を設定  
した上で、取り組み度合  
い、結果を評価、ホーム  
ページなどで公表してい  
る。

地方議会は、全国を見渡  
せば一部にすぎない。溝  
部議長は言う。「法律を  
変えなくてもできること  
はたくさんある。組織を  
変えたければ、まずは自  
分が変わること。それで